

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

安全・安心・納得・満足の学校生活。「大塚だからできる！大塚は夢をかなえる！大塚からはばたけ！」

- 学びの充実で生徒の夢実現！目標達成できる教育実践をめざす学校
- 丁寧な規律指導で規範意識を養い、寄り添う心で人間教育を大切にする学校
- 他者と自分を大切にし、自己有用感をもって社会貢献できる人材を育成する学校。
 - ・ 普通科…多様な生徒の幅広い教育ニーズに応え、地域に根ざした学校
 - ・ 体育科…競技力の向上と府民のスポーツの振興、発展の拠点校としての学校

2 中期的目標

1 確かな学力の向上

(1) 生徒が「何を学び」「何を理解し」「何ができるようになったのか」を自覚し、説明できる授業。

- ア IT、少人数展開、習熟度別、ICT活用などによる生徒が満足できる授業を展開する。
- イ 始業前学習や短期集中講座の実施により、基礎学力の定着をめざした学習を継続的にサポートする。

(2) 授業改善に積極的に取り組み、教員の授業力向上を図る。

- ア 校内研究授業週間をベースに、教員相互の自主的な授業観察、授業評価を行う。
- イ 生徒対象の授業評価、保護者の授業参観時の評価を授業力向上に繋げる。

※ 卒業時アンケートにおける「3年間勉学に一生懸命取り組めた。」の肯定率を令和5年度には75%以上とする。

(R2: 72.0%、R1: 63.4%、H30: 62.8%)

※ 卒業時アンケートにおいて「大塚で3年間学んで学力面で伸びた。」の肯定率を令和5年度には70%以上とする。(R2: 61.5%、R1: 57.1%、H30: 54.9%)

2 志や夢のはぐくみ

(1) 生徒が自分の意志と責任で進路を選択できるようにガイダンス機能(的確な情報提供・進路HR・進路相談)の充実を図る。

※ 進路アンケートにおいて「第1希望をかなえることができた。」の肯定率を令和5年度には90%以上とする。(R2: 91.1%、R1: 82.2%、H30: 87.9%)

(2) 大学等の進学情報を収集・提供するとともに、大学見学会やオープンキャンパス等に生徒・保護者が積極的に参加できる機会を設ける。

(3) 3年間見通した継続的、系統的な進路講習を整備し全校的に計画的に実施する。

※ 大学(4年制)進学率を令和5年度には70%とする。(R2: 58.2%、R1: 53.0%、H30: 55.5%)

※ 大学入学共通テストの受験者率を令和5年度には15%とする。(R2: 4.8%、R1: 12.0%、H30: 14.4%)

※ 就職内定率を令和5年度も100%を維持する。(R2: 100%、R1: 100%、H30: 100%)

3 豊かな心と社会性の育成

(1) 「あたりまえのこと(挨拶・時間厳守・ルールやマナーの遵守)をあたりまえに！」を合言葉に、丁寧な指導で規律規範の確立、納得の生徒指導に努める。

ア 生徒全員が明るく大きな声であいさつのできる学校を維持・発展させる。

※ 遅刻総数を令和5年度には550件以内とする。(R2: 479、R1: 678件、H30: 843件)

イ 教育相談体制を整備・充実し、生徒たちの心のケアに努め、安全で安心な学校づくりを推進する。

ウ 生徒状況の把握と保護者との緊密な連携を図るため、保護者との三者面談100%実施をめざす。

エ 保健部、人権委員会、学年が連携したケース会議を効果的に運用する。

オ 学校行事(大塚祭)の充実及び部活動の充実を図る。

※ 普通科生徒の部活動加入率を令和5年度には75%以上とする。(R2: 71.4%、R1: 66.3%、H30: 64.0%) ※

(2) 生命の尊さに気づかせ、自他を認める態度や人格の育成をめざす。

4 体育・スポーツの拠点校としての発展と地域交流の促進(開かれた学校づくり)

(1) 活発な部活動と体育科の専門性を活かし、広く府民の体育・スポーツの振興発展を目標に、地元小学校や中学校を中心としたスポーツ交流やボランティア活動を推進する。

ア 松原市の地元小学校と連携した「ふれあい大塚スポーツ教室」を継続実施する。

イ 地元中学校の運動部との連携と交流を促進する。

(2) オリンピック出場をめざし、府民に夢と感動を与えられるようなトップアスリートを育成する。

ア スポーツ講演会の開催

イ スーパーインストラクター招聘事業

(3) 松原市におけるスポーツ関連事業等に積極的に参加し、地域交流・地域貢献を推進する。

(4) 進展する少子化に対応するための魅力ある学校づくりを推進する。

(3) 首席、ミドルリーダーが中心となり、出前授業、学校説明会、中学校訪問など広報活動を成長の場面と捉えて、積極的に運営にかかわっていく。

5 次代を担う人材の育成

(1) 若手教員の育成とミドルリーダーの養成を図る。

ア ミドルリーダーが講師となり、自身の成長につなげるとともに、教職経験の少ない教員を対象とした校内研修を実施し人材を育成する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の向上	<p>(1) 生徒が「何を学び」「何を理解し」「何ができるようになったのか」を自覚し説明できる力を養う授業。</p> <p>ア 授業改善に向けた取組みの推進</p> <p>イ ICT を活用した授業の推進</p> <p>ウ 生徒の学習意欲の向上への取組み</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングを取り入れた授業改善に関する教員研修を計画・実施する。 ・「大塚スタンダード」の確立 ・1・2学期に設定している研究授業週間に加え、1年間全ての授業を公開とし、授業改善に繋げる。 ・他校での実践から学び、講義型授業だけでなく、ペアワークやグループ学習を含む協同学習に取り組み、スキルアップを図る。 ・習熟度別展開授業やTT授業などにより、個々の生徒に応じた学力の向上を図る。 ・年間行事の精査を行い授業時間の増加に努める。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の整備に努めるとともに、機器を活用した研究授業を実施し、教員間の情報共有を図り、生徒の興味・関心を高める授業に繋げる。 <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で資格取得に積極的に取り組む ・始業前学習の充実や成績不振者を対象にした集中講座を実施し、生徒の基礎学力の定着を図る。 ・自習室などの積極的な活用を促し、自学自習の習慣を確立させる 	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員向け学校教育自己診断「参加体験型の学習などの指導方法の工夫・改善」の肯定率 75% [65.3%] ・授業ルールの徹底。令和4年度に向けて方針決定する。 ・教員相互の授業見学を行い、相互の観察結果をもとに、自己研鑽の材料とする。 ・年間最低一度の授業見学（振り返りシート提出 50 枚） ・全教員が必ず1度は他校での公開授業に参加する。 ・生徒向け学校教育自己診断「授業はわかりやすく、楽しい」の肯定率 50% [45.2%] ・授業アンケートの全項目（9項目）の平均肯定率 85% [82.0%] <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員向け学校教育自己診断「ICTを活用した授業」の肯定率 70% [57.1%] ・授業アンケート「授業の内容に興味・関を持つことができた」の肯定率 84% [79.0%] <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検・漢検へのチャレンジ生徒数合計 300 名をめざす。 ・始業前学習、定期考査前講習、長期休暇中の補習の継続実施。 	

2 志や夢のはぐくみ	(1) 夢の実現に向けた進路指導の推進 ア ガイダンス機能の充実	(1) ア ・学年ごとに進路 IR、進路分野別説明会などを実施し、生徒自らの意志で進路を選択できるような確かな情報提供を図る ・1年生を対象とした大学見学会を実施する。 ・保護者対象に奨学金説明会などを開催し、進路情報の提供に努める。 ・進路指導室の充実を図り、相談や資料閲覧など生徒の利用を一層促進する。	(1) ア ・学年ごとに保護者対象の進路説明会や1・2年生対象の大学、短大、専門学校等の講師による進路分野別説明会の実施。 ・生徒向け学校教育自己診断「進路について必要な情報を提供してくれる」の肯定率 80% [79.4%] ・卒業生アンケートの「進路指導室利用」の肯定率 70% [70.8%]	
	イ 進学講習の推進	イ ・放課後講習や休業中の集中講習などの各種発展講習を計画的に実施し、進学希望者を支援する。 ・休業中に学校外の施設において勉強合宿を実施し、学力の向上とともに、進路に対するモチベーションを高める。 ・分掌、教科を横断した総括する係を新設し、各種講習を効果的に実施する。	イ ・早朝、放課後講習や夏・冬休み集中講習、センター試験前の直前講習などの実施 ・2,3年生を対象とした長期休業中に行う大学での勉強合宿の実施。 ・大学（四年生、短期）進学率 65%以上 [59.2%] センター入試受験者率 15% [4.4%]	
	ウ キャリア教育の推進	ウ ・企業開拓や面接指導の実施など、就職の希望者の状況に応じた指導を行うとともに、公務員試験に向けた講習を実施し、進路実現を図る。	ウ ・就職内定率 100%維持 ・警察、消防、自衛隊等の公務員試験合格者数の増加 [5名] ・卒業生アンケート「第1希望をかなえることができた」の肯定率 90% [91.0%]	

<p>3 豊かな心と社会性の育成</p>	<p>(1) 生徒の規範意識の醸成と教育相談体制の充実 ア 時間厳守・挨拶、ルールやマナーの遵守できる学校 イ 交通安全や薬物乱用防止に向けた規範意識の醸成 ウ 個に応じた支援体制の充実</p> <p>(2) 特別活動等を通じた自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上 ア 部活動活性化へ向けたの取組みの推進 イ 学校行事の充実</p> <p>(3) 生命の尊さに気づかせ自他を認める態度や人格の育成 ア 総合的な人権教育の推進 イ 災害時に自らの命を守る行動ができるよう安全指導の徹底</p>	<p>(1) ア ・早朝立ち番指導（挨拶と自転車指導、遅刻指導）を継続実施する。 ・遅刻の多い生徒に対し、「振り返りシート」などを活用し、丁寧な個別指導を実施する。 ・「教員自らが先に生徒へ挨拶を」を励行する。 イ ・交通安全教室、薬物乱用防止教室の実施や科目「保健」の学習など、教育活動全体で機会を捉えて、生徒への啓発に積極的に取り組む。 ウ ・教員研修の充実を図り、教員の意識を高め日頃からカウンセリングマインドを持ち生徒に接する。 ・ケース会議を効果的に運用し、生徒支援に努める。 ・家庭との緊密な連携を図り、生徒の状況の把握に努め、課題の早期発見をめざす。 ・教育相談室の有効活用を促進する。</p> <p>(2) ア ・クラブ紹介の充実や新入生全員参加のクラブ見学の複数回の設定など体験入部の方法を改善し、普通科生徒の部活動入部を促進する。 ・大塚祭等において文化部の活動を発表する機会を増やす。 イ ・大塚祭体育の部の取組みを継続するとともに、文化の部の充実・活性化を検討する。 ・普通科生徒にとって一層魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>(3) ア ・「人権教育推進計画」に基づき、教科や特別活動など教育活動全体で人権教育を実施する。 ・教員対象の研修会を実施し、生徒に寄り添い人権に配慮した生徒指導、部活動指導などに努める。 イ ・日常的に安全教育・指導に努め、災害時の避難行動について理解できるよう、様々な事態を想定した実践的な避難訓練を行い、生徒の安全に関する、意識の向上を図る。</p>	<p>(1) ア ・教務遅刻数 700 件以下 [479 件] ・生徒向け学校教育自己診断「先生は言葉遣いなどについて指導してくれる」の肯定率 85% [81.6%] イ ・生徒向け学校教育自己診断「命の大切さやルールについて学ぶ機会がある」の肯定率 75% [72.2%] ウ ・生徒向け学校教育自己診断「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の肯定率 58% [57.8%] ・積極的な「ケース会議」の開催 ・懇談週間等、様々な機会における保護者との三者面談の実施率 100%</p> <p>(2) ア ・普通科の部活動入部率 75% [71.4%] 普通科の文化部加入率 10% [8.6%] イ ・生徒向け学校教育自己診断「大塚祭等、学校行事は工夫されている」の肯定率 70% [67.1%] ・生徒向け学校教育自己診断「学校に行くのが楽しい」の肯定率 体育科 85% [体育科 85.6%] 普通科 75% [普通科 71.7%]</p> <p>(3) ア ・生徒向け学校教育自己診断「人権の大切さについて学ぶ機会がある」の肯定率 75% [72.0%] ・卒業生アンケート「人権問題に関心をもっていますか。」の肯定率を 85% [72.0%] イ ・生徒向け学校教育自己診断「災害時の避難行動について具体的に知らされている」の肯定率 70% [60.2%]</p>
--------------------------	--	---	---

<p>4 体育・スポーツの拠点校としての発展と地域交流の促進</p>	<p>(1) 競技力の向上とスポーツ拠点校としての取組みの強化</p> <p>ア 競技力向上と効果的な指導方法の研究</p> <p>イ 地域とのスポーツ交流と地域貢献の推進</p> <p>(2) 魅力ある学校づくりの推進</p> <p>ア 学校広報の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートを招聘した「スポーツ講演会」や運動部活動における「スーパーインストラクター招聘事業」などを実施し、運動部部員の意識を高める。 ・高校スポーツ界の夢の舞台である全国高校総体への出場をめざし、さらなる競技力の向上に努める。 ・「運動部活動ガイドライン」を踏まえ、週1日の活動休止日の設定や効果的な活動時間、練習方法を研究する。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育資源を活用し、地元小学生を対象した「ふれあい大塚スポーツ教室」を実施し、スポーツ交流を推進する。 ・中学校運動部を招いた「大塚CUP」を実施し、スポーツ拠点校としての交流を推進する。 ・文化部の老人福祉施設などの訪問や自治会を中心とした地元中学校との連携及び市民文化活動、地域フェスタに積極的に参加し、地域交流・貢献に努める。 <p>(2)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルしたHPの効果的な運用を図るため、学年、部活動等ごとにデータ提供を行う担当者を位置付け、中学生等への情報発信に努めるとともに、在校生保護者の安心・信頼感を高める。 ・本校で実施する学校説明会(年間4回実施)の充実を図る。 ・全教員による中学校訪問を実施し、本校の教育活動の周知を図る。 	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒対象の「スポーツ講演会」及び運動部活動生徒対象の「スーパーインストラクター招聘事業」の継続実施 [11回] ・全国高校総体など全国大会への複数クラブ出場 [陸上競技部] <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい大塚スポーツ教室」の種目と参加者の増加 [実績なし] ・地域中学校の運動部を招待した大会「大塚CUP」の開催 [実績なし] ・文化部の保育園や老人福祉施設等への交流事業を促進する。[実績なし] ・生徒向け学校教育自己診断で、「授業や部活動を通じて、小中学校、地域の方々と交流する機会がある」の肯定率 45% [44.4%] <p>(2)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断「教育情報についての提供の努力」の肯定率 72% [68.2%] ・学校説明会「参加者アンケート」の肯定率 95%以上 [95%] ・オープンスクールを1回実施 ・中学校訪問数 150校以上 [135校] 	
<p>5 次代を担う人材の育成</p>	<p>ア 人材の育成</p> <p>イ 労働安全衛生管理体制の充実</p>	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者も含め、2年目から4年目までの教員を対象とした「フレッシュマンセミナー」を継続実施する。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化とともに、安全衛生委員会の活性化を図り、教職員の健康管理体制を充実させる。 ・部活動顧問間の業務分担を明確にし、主顧問の負担軽減を行う。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フレッシュマン・セミナー」の開催 年3回自校の課題解決に向けての研修 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の意識改革を進め「時間外勤務月80時間以上」の延べ人数の減少をめざす。 	